

「まち」の元気じるし登場 ～企業訪問 イシノ工芸(安塚商工会)～

新潟県西部に位置する上越市は、総人口 20 万人超の特例市です。
今回の“まちの元気じるし登場”は、上越市安塚区にある建具屋さん
「イシノ工芸」をご紹介します。



石野宏さんと石野正数さん

商売を続けるエネルギー源

木製建具、店舗家具、特注家具の設計施工を行なうイシノ工芸は、創業から現在まで既製品は一切扱わず、素材には木を使い、すべてオリジナルの逸品が自慢です。
受注の一例では、都内のビルに入る企業のエントランス一角や、デパートの化粧品売り場の陳列棚など、施工は県内にとどまらず実績を積んでいます。

創業者で代表の石野正数さんは、中学校卒業後に隣村の建具屋へ住み込みで修業に入り、昭和 53 年 4 月に 27 歳で独立しました。「独立した」とは言え、当初は道具や機械さえ満足に揃っておらず、仕事のアテもなく…。そんな中、石野さん曰く、「どうゆうわけか」地元企業から声を掛けてもらい、以来 30 年以上の付き合いが続いているそうです。忘れもしない初仕事は、「売上 500 万円、諸費用の支払も 500 万円だった。」と苦笑い…。

丁寧な仕事ぶりが評価され、「この建具屋なら大丈夫だ」と太鼓判を押してもらえたことが、商売を続けていく一番のエネルギー源になったと話してくださいました。

独学で家具作りにもチャレンジ

昔ながらの日本の家づくりは、建具もすべて手作りでしたが、生活様式の変化に伴い、住宅に使われる建具のほとんどが既製品になっていきました。イシノ工芸でも一般住宅用建具の受注は減りましたが、石野さんが独学で家具作りも身につけていたことから、仕事の幅も広げることができました。

家具作りを始めたきっかけは、とある施工の打合せで、「おたくは建具だけだから、家具は別のところに…」と言われて、悔しい思いをしたことからでした。

石野さんは、「もともとモノ作りが好きだったし、何でもやっていかないといけない時代になっていたからね。」と控えめに話しますが、ご自身の努力と、持ち前のチャレンジ精神が功を奏したのではないのでしょうか。



喜ばれ、望まれる仕事を

経営方針についてお聞きしたところ、『一番に、お客様に望まれる仕事をしていきたい!』とのこと。

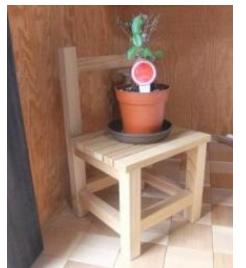
創業以来、良い取引先に恵まれ、施工を見た方からの問合せや口コミも増えて、営業活動はほとんどせずとも受注は安定しており、積み上げた信頼と実績には自信があります。

「イシノに任せておけば大丈夫」という嬉しい声も聞こえてくるそうです。

「我々の仕事は、あらかじめモノを作っておくのではなく、依頼されて初めて取り掛かるものですから、お客様の要望を聞き、いかにそれに応えていくかです。ゼロからカタチにしていくのでおもしろいんですよ。喜んでもらいたいし、自分達の手でそれが出来るということが何より嬉しいですね。

お陰様で今まで商売してきて、相手の方から疎遠になったことはありません。」と、力強く語ってくださいました。

地域の祭りでは、商工会工業部会として、手づくりの木の椅子を無償提供し、人気を集めたそうで、イシノ工芸の評判のワケが見えた気がします。



20 年以上続けているコト

今年還暦を迎えた石野さんは、根っからの高校野球好きで、高野連の審判員歴は 20 年超になるそうです。シーズンが始まり、ほぼ毎週末、各球場へ足を運んでいます。奥様は声にこそ出ませんが、温かく見守ってくださっているのではないのでしょうか。取材中は高校野球談議に花が咲き、本来の趣旨を忘れるところでした…。

「仕事以外の場所があるのはいいことですよ。交流の輪が広がるし、とても大事なことです。」と納得?の理由を見つけてニコリ。家族があって、仕事があって、その上で好きなコトが続けられるって本当に素晴らしいことです。明日への活力になっています。



NC ルーター

後継者への想い

現在、長男の勉さんと次男の宏さんも加わり、若い感性で家業を引っ張っています。

最近では、打合せから見積り、仕入から施工など、すでに仕事の 9 割を二代目に任せ、世代交代に備えています。この度、息子達の意向により NC ルーターを買い替えたことで、一層高度な作業が可能になりました。

「モノ作りにおいて、今は正確さが第一に求められます。最終的には人の手が必要になりますが、正確さという点では機械に勝るものはないんじゃないかな。いつまでも自分達の時代のことばかり言っているのはダメ。商売は受け身ばかりではなく、時には新しい感覚で攻めていくことも必要です。



S50 購入の機械もまだまだ現役



倅は自分より経営者向きなんじゃないかと思って見ています。三代四代と続く企業の話に耳にすると、つくづく大変なことだと感じますが、今後もイシノ工芸の名前が続いていつて欲しいと願っています。」と、後継者にかかる想いを語ってくださいました。

【お問い合わせ】 イシノ工芸

〒942-0415 新潟県上越市安塚区松崎 619-1
TEL : 025-592-3488 / FAX : 025-592-2669